

■自動車学校マナー検定制度 教習所スタッフを対象としたマナー検定と対策講座です。

マナー検定は「マナーのよいドライバーを育てられるのはマナーのよい指導員だけ」を合言葉に生まれました。

教習指導員やフロント担当者、バスドライバーに求められる「プロとしてのマナー」と「一般社会人のマナー」をともに確認できる検定制度です。



検定対策講座〈ロールプレイ/あいさつ〉



東京大会 マナー検定5級



今、教習所でマナーが注目される2つの理由

1. 教習所の社会的責任を果たすために

教習指導員で教習生の無事故を願わない人は1人もいないでしょう。指導員には運転技術だけでなく、事故のない交通社会を作っていく責任があります。重大事故の原因は、ドライバーの無謀な追い越し・飲酒・スピード違反等々…これらは運転技術の未熟さよりむしろ、運転技術への過信によるマナーの悪さによると言えます。つまり、「安全運転のドライバー」=「マナーのよいドライバー」であり、マナーのよいドライバーを育成できるのは、マナーのよい指導員だけなのです。

2. マナーアップで業界全体のイメージアップを

若年層をターゲットとする教習所業界にとって、大変厳しい状況が続いていますが、値下げ合戦は悪循環を生むだけです。業界活性化のポイントは「顧客満足度」を高めること。指導員一人一人が「笑顔と挨拶のパワー」に目覚めることが大切です。業界全体のマナーがよくなり、教習が楽しくなれば、免許人口の増加にも繋がっていくでしょう。

指定自動車教習所協会主催のマナー研修も年々増え、毎年開催する県も多くなっています。

全国ですでに16協会がマナー研修を主催。業界のマナーアップを呼びかけています。



三重県 指定自動車教習所協会マナー研修



栃木県 指定自動車教習所協会マナー研修



茨城県 指定自動車教習所協会マナー研修

■中高生のための自転車安全教室 東京・大阪をはじめ、北海道から福岡まで全国23都道府県で実施!

規制強化で急速に高まった自転車安全教室の需要

自転車に対する規制強化が行われた結果、公立高校では、セーフティ教室の中で「自転車安全講習」などが行われてきましたが、従来の講義と実技の講習は、準備に時間がかかり、また生徒の反応が今ひとつという悩みがあったそうです。

「全校生徒700名が最後まで集中して聴くなんて!」と先生方も驚いた弊社のプログラム

弊社のプログラムでは、中・高校生の大好きな心理テストをやって、まず興味を惹き付けます。次にパワーポイントを使って講義を進めますが、ここではクイズやおもしろ情報を挟み、飽きさせないような工夫が施されています。さらに中高生が加害者となった損害賠償の事例には皆、真剣に聴き入ります。

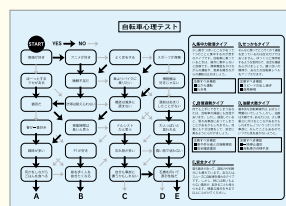
女子高校生が携帯電話・無灯火で夜間走行中に衝突事故。相手の看護師には重大な障がい(歩行困難)が残った。
損害賠償額 **5,000万円**

生徒のアンケートも好評で、次の依頼も続々

アンケートからは生徒が真面目に聴講したことがうかがえ、担当教師、校長先生、PTAの評判も上々。新1年生のオリエンテーションなど次の機会に繋がったり地域の校長会で推薦していただけるなど、中学・高校とのパイプが太くなったという声が寄せられています。

学校と教習所の橋渡し役。3点セットの「自転車安全教室教材」

中高生それぞれに合わせた飽きさせない工夫が満載です!



楽しみながら自分のタイプを診断できる心理テスト



「わかりやすく飽きさせない」と好評のDVDとテキスト

